

環境経営レポート

2023年版

【2023年3月～2024年2月】

発行日：2024年04月27日

ニューメディカ・テック株式会社



エコアクション21
認証番号 0000078

目 次

| 項 目 | ページ |
|---------------------------------------|-----|
| あいさつ | 2 |
| 環境経営方針 | 2 |
| 組織の概要 | 3 |
| 事業・製品の紹介 | 3 |
| 環境経営組織図及び役割・責任・権限表 | 4 |
| 主な環境負荷の実績 | 5 |
| 環境経営目標及びその実績 | 5 |
| 環境経営計画の取組結果とその評価 | 6～8 |
| 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無 | 8 |
| 緊急事態対応訓練 | 9 |
| 代表者による全体の評価と見直し・指示 | 10 |
| これまでの環境活動の紹介 | 10 |



□ごあいさつ

当社は全人類の健康のため、水資源確保のため、地球環境における「水」問題解決のため、他のメーカー様と明らかに異なる視点で研究開発を重ねています。

多くの人々に「安全・安心な水」をご提供したいとの思いから創業。地下水汚染地域の井戸水等を水道水よりもきれいな水のできる浄水システムを開発し、地下水汚染地域で約1万台の実績をあげるとともに、多くの自治体から補助金が出る浄水機として認定されています。

また、開発途上国では今でも汚染された飲料水により、10億人以上の人々が水不足に直面しており、1日1万人（8秒間に1人）もの幼い子どもたちが命を落としているのが現状です。

持続可能な社会構築の一助として、浄水器の基本構造を守り続け、安心してご使用いただける設計、開発体制を守り、実施しております。

これからも人々に愛され、ご評価頂ける製品づくりを進め、豊かな水環境と人々の健康に貢献したいと考えています。

環境経営方針

<環境経営理念>

ニューメディカ・テック株式会社は、浄水装置を主とする開発型企业であり、安心安全な飲料水を供給する装置を提供することにより人々の健康に貢献します。
その行動指針を以下のように定め、実行します。

<環境保全への行動指針>

- (1) 以下について環境目標を定めて継続的に改善活動を行います。
 1. 人々に安心安全な飲料水を供給するために緊急災害用浄水装置や地下水汚染対策浄水装置の開発提供を推進します。
 2. 製品のライフサイクルにおいて環境に配慮し、省エネルギー、省資源リサイクルが容易な「ものづくり」を推進します。
 3. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素削減に取り組みます。
 4. 循環型社会を目指し、廃棄物の削減と資源のリサイクルを推進します。
 5. 水資源の有効利用に努めます。

- (2) 現在および将来の事業活動において適用される法規や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2005年1月20日

改定日：2022年7月1日

代表取締役社長 **竹迫 敬**

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
ニューメディカ・テック株式会社
代表取締役社長 竹迫 敬了
- (2) 所在地
本 社 大阪府 吹田市川岸町15番8号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 竹迫 敬了 TEL: 06-6318-2281
- (4) 事業内容
家庭用・業務用・災害用 浄水装置の開発・メンテナンス
- (5) 事業の規模
売上高 2023年 95,080 千円
- | | | |
|-------|----------------|--------------------|
| | 本 | 社 |
| 従業員 | 名 | 9名 |
| 延べ床面積 | m ² | 581 m ² |
- (6) 事業年度 3月1日～2月末日



□認証・登録の対象組織・活動

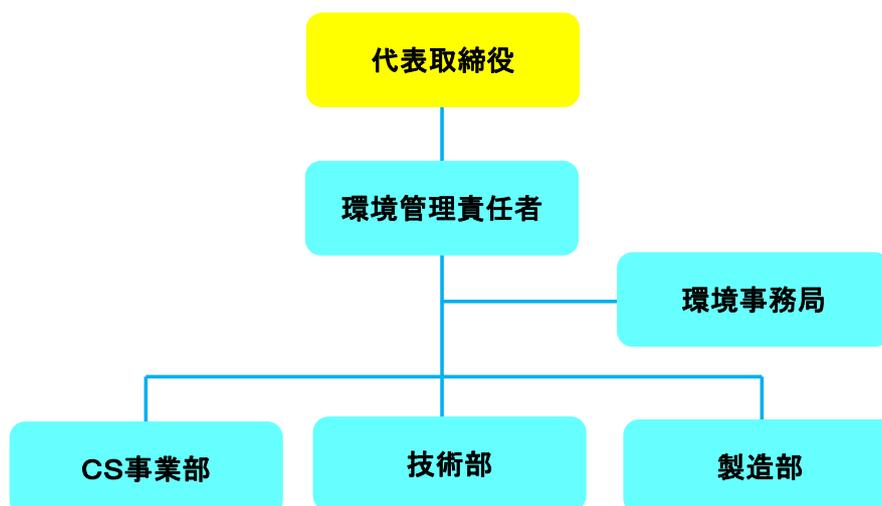
登録組織名: ニューメディカ・テック株式会社
対象事業所: 本 社

活動: 家庭用・業務用・災害用 浄水装置の開発・メンテナンス

□事業や製品(商品)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



| | 役割・責任・権限 |
|---------|---|
| 代表者(社長) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

□主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|-----------|--------------------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 11,601 | 11,849 | 12,328 |
| 廃棄物排出量 | | | | |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 443 | 383 | 390 |
| 水使用量 | m ³ | 128 | 99 | 124 |

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※目標としていない燃料分 (LPG) を含む

□環境経営目標及びその実績

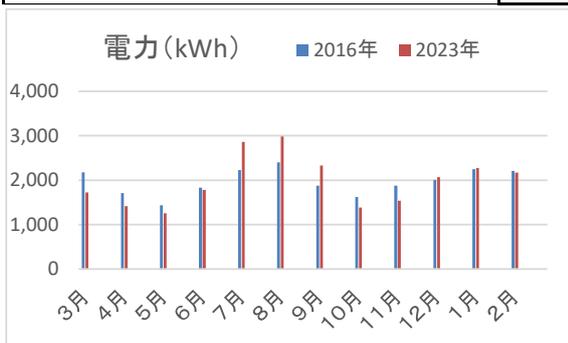
| 項目 | 年度 | 基準値 | 2023年 | | 評価 | 2024年 | 2025年 |
|-----------------|--------------------|--------------|--------------------|--------|----|--------|--------|
| | | (基準年) | (目標) | (実績) | | (目標) | (目標) |
| | | 電力による二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 11,720 | | 10,900 | 11,805 |
| | 基準年度比 | 2016年 | 93% | 101% | | 92% | 91% |
| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 2,274 | 2,114 | 517 | ○ | 2,092 | 2,069 |
| | 基準年度比 | 2016年 | 93% | 23% | | 92% | 91% |
| 上記二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 13,994 | 13,014 | 12,321 | ○ | 12,874 | 12,735 |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 429 | 399 | 390 | ○ | 394 | 390 |
| | 基準年度比 | 2016年 | 93% | 91% | | 92% | 91% |
| 水使用量の削減 | m ³ | 194 | 175 | 124 | ○ | 173 | 171 |
| | 基準年度比 | 2016年 | 90% | 64% | | 89% | 88% |
| 環境に配慮した生産活動 | | 行動目標(次項による) | | | | | |

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 電力による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|------------------------|------|--|
| 数値目標 | × | |
| 不要な照明の消灯・不要な電源OFF | ○ | 昼休憩時間は消灯し作業時も不要な個所は消灯、エアコンもできる限り抑えて使用したため、節電を意識しましたが、猛暑による夏場の使用が増えたこと、また、出荷台数が増加したことによる出荷前検査時の機器稼働が増えたことにより、目標数値を上回ってしまいました。 |
| 定期的な蛍光灯やエアコンの清掃 | ○ | |
| 暖房温度(20℃)・冷房温度(28℃)の設定 | ○ | |



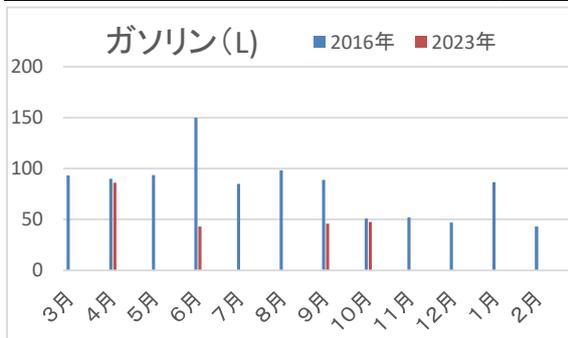
啓発POP



啓発POP

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 2,180 | 1,712 | 1,437 | 1,831 | 2,230 | 2,402 | 1,874 | 1,623 | 1,877 | 2,006 | 2,247 | 2,211 |
| 2023年 | 1,721 | 1,416 | 1,259 | 1,783 | 2,865 | 2,986 | 2,329 | 1,387 | 1,539 | 2,067 | 2,275 | 2,173 |

| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|-------------------|------|---|
| 数値目標 | ○ | |
| ・アイドリングストップ | ○ | 必要最低限の社用車の使用(公共交通機関の利用)、また、急発進や急ブレーキをしないエコドライブを意識した運転、エコモードにて乗車をするように運転する社員には周知しました。また、体調管理に無理のない範囲にて、車内冷暖房も控えめに使用することを徹底しています。 |
| ・社用車の利用は必要最小限に努める | ○ | |
| ・冷暖房の控え目使用の徹底 | ○ | |
| ・効率の良い走行ルートを中心掛ける | ○ | |



取組紹介欄

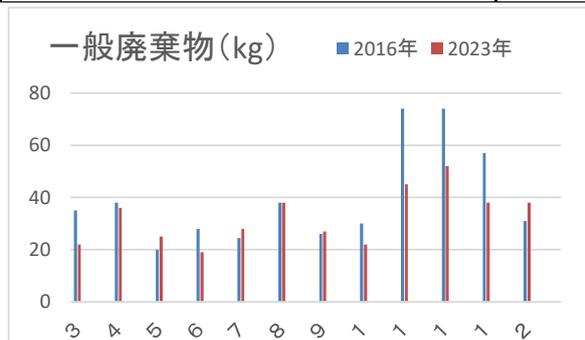


車内啓発POP



| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|-------|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
| 2016年 | 93 | 90 | 94 | 150 | 85 | 98 | 89 | 51 | 52 | 47 | 87 | 43 |
| 2023年 | 0 | 86 | 0 | 43 | 0 | 0 | 46 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 一般廃棄物の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|-----------------|------|--|
| 数値目標 | ○ | 可能な限り文書の電子化に努め、9月から導入したカード決済システムにより請求書の発行件数が減少できたことにより、目標を達成できました。 |
| ・社内LAN、メールの活用 | ○ | |
| ・紙類の再利用とリサイクル | ○ | |
| ・裏紙使用および両面印刷の徹底 | ○ | |
| ・リサイクル資材の推進 | ○ | |
| ・文書の電子化の推進 | ○ | |



取組紹介欄



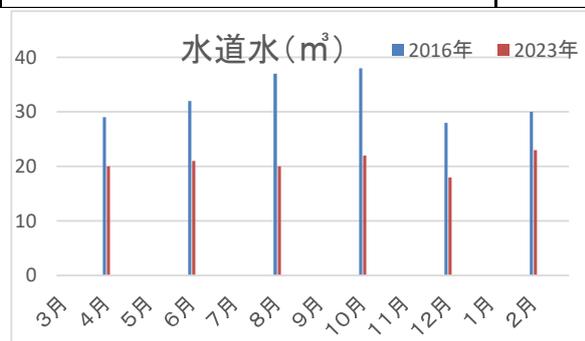
啓発PO



ゴミ箱に捨てる前に再確

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
| 2016年 | 35 | 38 | 20 | 28 | 25 | 38 | 26 | 30 | 74 | 74 | 57 | 31 |
| 2023年 | 22 | 36 | 25 | 19 | 28 | 38 | 27 | 22 | 45 | 52 | 38 | 38 |

| 水使用量の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|--------------------|------|---|
| 数値目標 | ○ | 製品検査時以外は、水道水の元栓だけでなく止水コックも閉じる、再利用できる浄水は再利用するなどの節水に努めることにより、目標を達成することができました。 |
| ・節水シールの貼り付けとポスター掲示 | ○ | |
| ・作業場の水の節水 | △ | |
| ・製品検査の効率化による水の削減 | △ | |



取組紹介欄



製品検査時の水道水は水やりや清掃などに再

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
| 2016年 | 0 | 29 | 0 | 32 | 0 | 37 | 0 | 38 | 0 | 28 | 0 | 30 |
| 2023年 | 0 | 20 | 0 | 21 | 0 | 20 | 0 | 22 | 0 | 18 | 0 | 23 |

| 環境に配慮した生産活動 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|--|------|---|
| 緊急災害用浄水機のデモ、防災・BCPの普及啓もうサービスの改善、修理時の貸出浄水器の整備 | ○ | 災害用浄水機のデモンストレーションの依頼を受け、BCPの啓蒙活動を行いました。 |
| | ○ | |

取組紹介欄



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 適用される法規制 | 適用される事項（施設・物質・事業活動等） |
|------------|-------------------------------------|
| 廃棄物処理法 | 一廃収集業者の許可の確認 |
| 家電リサイクル法 | 特定家庭用機器をなるべく長期間使用、再商品化に必要な料金の支払い |
| 小型家電リサイクル法 | (使用者) 分別し、再資源化を適正に実施するものに引き渡すように努める |
| 水質汚濁防止法 | 油及び有害物質の流出事故時の措置と届出 |
| フロン排出抑制法 | 業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫 |
| 労働安全衛生法 | S D S 義務化物質のリスク評価 |

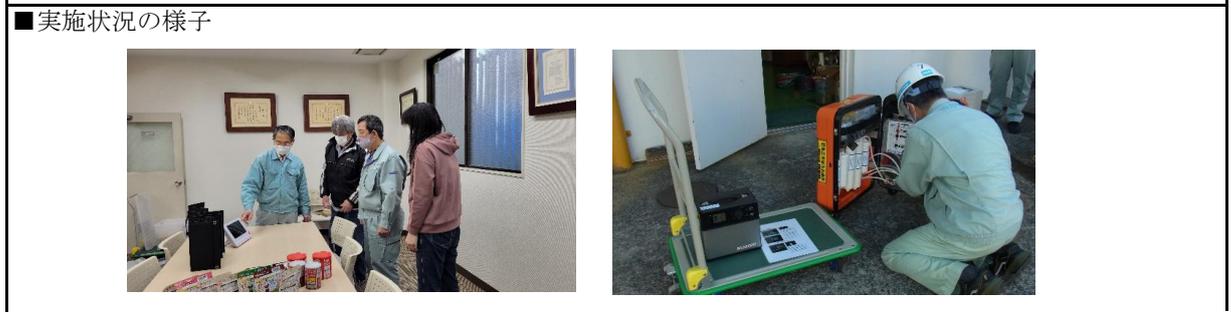
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

| | |
|---|---|
| 緊急事態の想定: 南海トラフ地震・火災発生 | |
| ■実施日: 2023/9/26 | ■実施場所 本社 |
| ■参加者: 全社員 | |
| ■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練・避難訓練・他 震度6弱の地震が発生、それに伴い小規模の火災が発生したと想定し消火訓練を実施。 | |
| ■評価: | 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし |
| 地震の影響で火災が発生したと想定し、火災発生手順書に従い消火活動の訓練及び避難経路の確認を行った。 | |



| | |
|--|---|
| 緊急事態の想定: 南海トラフ地震発生 | |
| ■実施日: 2023/9/26 | ■実施場所 本社 |
| ■参加者: 全社員 | ■実施内容: 地震発生後、停電が発生した場合を想定し訓練を行った。 |
| ■評価: | 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし |
| 地震・津波が発生し帰宅困難となった場合を想定し、社内備蓄品の使用確認、またポータブル電源を使用した浄水訓練を行った。 | |



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月1日

水道水の削減において、前期の傾向から、今期も業務の内容上、例年より水量が増加することは想定しておりますが、改めて節水の意識を社員に徹底させる事により、結果として数値目標を達成することができました。
 作業内容の中で、使用する水を循環できる場合があり、作業前にいかに効率的に資源を利用するかを打合せ等を徹底した結果であると感じております。
 その他の数値におきましては、社用車の削減、可能な限りの電子書類（メール対応やPDF化等）の徹底ができた結果であると考えておりますが、電力においては目標値をクリアできませんでした。
 節電には努めてきましたが、夏場のエアコン稼働の増加、出荷台数増加による出荷前検査（機器稼働の増加）が要因でありますので、来期は、それを加味した上で節電対策に努めていきます。
 今年も毎年お声かけいただいている防災啓もう行事へ参加することができ、行事にお越しいただいた地域の方へ、防災対策の必要性や災害用浄水機の紹介を行えたところは、防災機器も扱う企業としての責務を果たせていると感じております。
 能登半島地震の発生により、災害用浄水機の販売台数において、例年以上の実績を残すことができました。
 きっかけは災害の発生ではありませんでしたが、弊社の浄水機を広められて事で、1人でも多くの方の給水支援活動に貢献できたことは、今後の糧にもなると実感しております。
 昨年同様、物価高騰により、何かしらの影響を受ける昨今の情勢ですが、会社や社員一人一人ができる環境への取り組みを考え、環境保全活動に取り組んでまいります。

- | | | |
|-----------|--|---|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 基準年度と電力の排出係数の見直し |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

□これまでの環境活動の紹介

市民、事業者、学校、行政などの協力関係を深め、環境の保全と創造に取り組むための参加型事業として毎回開催されている「すいた環境教育フェスタ」に出展いたしました。

